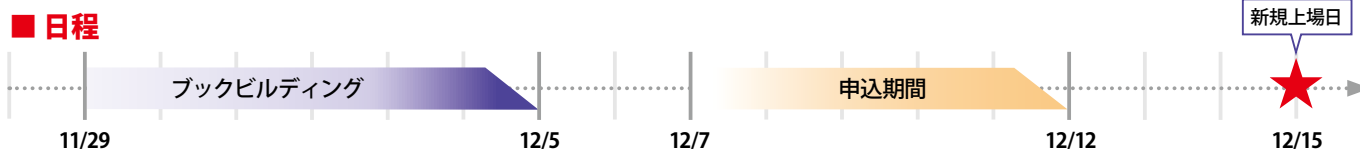


IPO銘柄 MS-Japan (6539・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6539	100 株	公募: 79.50 万株 売出: 79.50 万株 (OA23.85 万株)	1,960 円 ~ 2,080 円 (15.8 倍)	野村証券



士業や企業の経営管理部門職などに特化して人材紹介を展開

■ 事業内容

公認会計士、税理士、弁護士などの資格を有する士業と、事業会社の経理・財務・人事管理部門職種を対象とした人材紹介事業を手掛ける。採用企業は国内上場企業からベンチャー企業、外資系企業、金融機関、ベンチャーキャピタルなどの一般事業会社のほか、会計事務所や監査法人、法律事務所など専門的な組織の人材採用も支援している。収入は採用企業側からの成功報酬型の手数料。このほか、付随事業として紹介予定派遣者の紹介、企業や会計事務所などのM & A (企業の合併・買収) 仲介業務、会計事務所と法律事務所の検索サイト「J-ing」、税理士や公認会計士向け転職・業界動向案内ポータルサイト「KAIKEI FAN」なども手掛けている。人材紹介事業の単一業態。

■ 特徴

登録を行った求職者に対してカウンセリングを通じて転職先を紹介するが、採用する企業側の採用ニーズをくみ取り、登録者を紹介することで、双方のニーズをマッチングしている。専門分野に特化するため、担当者は業務内容や業界動向に対する知識を蓄積しやすく、求職者と採用企業の双方の専門的なニーズを細部にまで把握することで、精度の高いマッチングを実現している。

アナリストコメント

■ 定量分析

17年3月期の非連結経常利益は前年同期比20.7%増の9億8,100万円を予想している。企業の経営管理部門の人材強化の流れが強くなっており、人材需要は高まっている。専門的な士業への採用意欲も活発化しており、業績は着実に拡大している。

■ 定性分析

人材関連企業は旺盛な需要に支えられて業績面への安心感が強く、IPOマーケットで人気セクターに入る。ニッチ分野に専門特化した事業展開は新興市場上場銘柄らしい。会社側が取り組むコミュニケーションプラットフォームの構築にも注目。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約38億円。新興市場上場案件としては荷もたれ感が意識される規模となっている。売出し比率の高さは気になるが、ベンチャーキャピタル保有株はなく、公開株式以外の株券は市場に流通しづらい構造となっている。(小泉健太)

■ 類似企業

MS-Japan (6539・マザーズ)	予想PER15.8倍 (仮条件上限)
エス・エム・エス (2175・東証1部)	予想PER40.5倍
キャリア (6198・マザーズ)	予想PER24.4倍

■ 引受証券

野村証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券、SBI証券、みずほ証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年3月期(実績)	1,607	27.6	653	36.2	411	38.6	73.2	0.0
16年3月期(実績)	2,013	25.3	813	24.5	535	30.0	103.5	10.3
17年3月期(会社予想)	2,411	19.8	981	20.7	710	32.8	131.5	未定

※ 16年2月(1株→50株)、および同7月(1株→50株)に株式分割を実施。
15年3月期、16年3月期のEPSおよび配当は遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年3月期	2,250	2,863	2,444	20	434.5	18.5	85.3
16年3月期	112,500	3,187	2,741	20	530.2	20.6	86.0

※ 15年3月期、および16年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	有本 隆浩	3,158,000	55.58
2	T&Aホールディングス	2,000,000	35.2
3	MS-Japan	455,000	8.01
4	藤江 眞之	4,000	0.07
4	井川 優介	4,000	0.07
4	中園 隼人	4,000	0.07
7	久住 憲市	2,000	0.04
8	菅原 正則	1,500	0.03
8	大浦 善光	1,500	0.03
8	坂元 英峰	1,500	0.03
8	清水 悠太	1,500	0.03
8	有山 智規	1,500	0.03

経営陣

	役職	氏名
代表取締役 社長	有本 隆浩	
取締役 経営管理部長	藤江 眞之	
取締役 JSC事業部長兼JS西日本事業部長	井川 優介	
取締役 JSJ事業部長	中園 隼人	
取締役(監査等委員)	菅原 正則	
取締役(監査等委員)	大浦 善光	
取締役(監査等委員)	坂元 英峰	

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。